



# (株)豊田自動織機様 ボランティアありがとうございました



豊田自動織機の皆さん

11月11日(日)  
(株)豊田自動織機  
社会貢献グループ  
東知多工場班長会  
27名の方々が、今  
回12度目の福祉施  
設ボランティアに  
来てくださいまし

た。事務所駐車場・りんごびあの草取り、手すりのペンキ塗り、事務所1・2階の窓ふき、換気扇掃除など私たちが普段できないことをしていただき、大変きれいになりました。

作業後は、「りんりんの日曜お料理教室」の皆さんが作ったおなじみのカレーを食べていただきました。

豊田自動織機の皆さん本当にありがとうございました。



## 岩滑小のぞみ学級 クリスマス発表会

12月4日のぞみ学級の子どもたちは、歌・合奏・劇で楽しませてくれました。「世界に一つだけの花」を歌って、折り紙で作った可愛い花を、会場を回って利用者さんに手渡しました。のぞみ学級の子どもたちとデイサービスは年に3回交流しています。



平成31年(2019) 1月

No. 78

発行/特定非営利活動法人 りんりん  
半田市岩滑高山町5丁目4番地  
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623  
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

## ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援が  
りんりんを支えています。

### ご寄付ありがとうございます

みさわ精肉店 様

### 平成30年度賛助会員

石川 雅子 様

## りんりんのできごと

- 10/20(土) りんりんまつり
- 11/15(木) 介護者茶話会 「座ってできるヨガ」
- 12/4(火) 岩滑小のぞみ学級がデイサービス訪問  
りんごクラブ
- 10月 ハロウィンパーティ
- 11月 お抹茶・駄菓子屋
- 12月 クリスマス会  
カレーナイト
- りんごびあであそび
- 10月 パンづくり
- 11月 手あそび、絵本
- 12月 クリスマス会(日福保育実習生)



今年も見事な菊を持って来ていただきました

### やなべっ子食堂

- 10/6 オムライス・けんちん汁・さつまいも甘煮 …… 38名
- 11/3 おにぎらず …… 16名
- 12/1 チキンピラフ・ポトフ …… 24名

### ～ ヘルパー研修会 ～

- 11月 障がい者支援 家族の話 …… 38名
- 12月 防災・認知症ケア …… 33名

### 多世代交流事業

	10月	11月	12月
生き生きサロン	90名	124名	102名
さをり織り	46名	65名	49名
絵手紙	21名	20名	19名

(H30/12月末現在)

### 会員数

賛助会員	利用会員	協力会員	合計
21名	110名	112名	243名

(H30/12月末現在)

特定非営利活動法人 りんりん



新年あけましておめでとうございます。  
本年もよろしく願いいたします。

昨年ぶっしえんの11月金沢の社会福祉法人佛子園(3ヶ所)に視察に行ってきました。佛子園は行善寺住職で、佛子園現理事長の祖父にあたる初代理事長が、戦後、戦争孤児や行き場のない知的障害児らを寺で預かり寝食を共にしたことを機に、1960年社会福祉法人の児童養護施設として設立しました。

1ヶ所目は小松市野田町にある三草二木西圓寺。この施設は廃寺となった西圓寺の活用を地域住民らと協議し、生活介護、高齢者デイサービス、障害者の就労継続支援施設、地域住民が利用できる温泉入浴施設ができました。やぶそばが食べられる食堂や、住民と障害者が協力して作る梅干しやみそなども販売されていました。さらに、元気な街をつくるための取り組みとしてフィットネスクラブやフェアトレード珈琲、ボディケアルームもあります。この西圓寺での取り組みが、のちに佛子園による「ごちゃまぜ」福祉のまちづくり誕生のきっかけとなりました。

2ヶ所目は佛子園の本部があるB'S行善寺で、こちらも西圓寺と同様な施設が整備されています。加えて特徴的であったのは、地域の課題や意見を共有し主体的に問題に取り組むための拠点として機能している住民自治室です。ここは、通年開館されています。

3ヶ所目のシェア金沢は、敷地面積約1万1000坪に子供、学生、成人、高齢者、障害者が集う「ごちゃまぜ」の街を実現しています。佛子園には、他にも石川県内に数ヶ所の拠点があります。

りんりんとはまったく規模の違う法人でしたが、共通することは「地域の課題は地域で解決する。そのための仕掛け作り」を地域の方と一緒に取り組んでいけたらいいなと思いました。

今年も「安心して暮らせるまちづくり」に貢献できるように努力してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

理事長 渡邊 千恵

こんにちは



## “人生の大先輩”

林 廣子さん(103歳)

名古屋出身の廣子さん、昭和14年11月、結婚を機に半田へ。その3年後に名古屋大空襲があったそうです。「あのまま名古屋にいたらどうなっていましたか・・・」とお元気に見える廣子さんですが、今まで心臓病、結石、胆のうなどで入院したこともあるけれど、いつも回復が早く、1週間か10日ほどで退院できたとか。そんな経験もあってか、親より先に死んではいけないという気持ちはいつもあったと話されます。

健康の秘訣が気になるところですが、そのために気を付けてこられたことは特になく、野菜類はあまり好きではないというからおどろきです。お肌もきれいで、「60歳までお化粧したことはないけれど60歳過ぎてから、時によっては、お化粧をするようにしていました。おしゃれは“年寄りの美德だよ”と息子がいつてくれました」と思い出話もしてくれました。

「90歳過ぎまで老人会でコーラスや踊りをやったり、洋服を作ったり、手仕事もいろいろやりましたよ。いまでも自分のできることはなるべくやろうとしています。」息子さんご夫婦といっしょにお住まいですが、時にはお嫁さんと言ひ合うことも。「思ったことは言った方がいいの。そしてすぐに流すの。うちの嫁は京都の人だから言葉が柔らかくて、やさしくてね。大事にしてくれますよ。私の義父母も、私をとててもかわいがってくれましたし、しあわせな人生だと思います。感謝しています。」

りんりんには2年まえから来ていて、ここも楽しいけれど、一番の楽しみはひ孫さんの成長だそうです。ひ孫さんのことを話されるとき、とても嬉しそうな廣子さんでした。また、お友達の誕生日などもしっかり覚えていて、言葉もよどみがなく、わたしたち皆がお手本としたいような大先輩でした。

# りんりんまつり

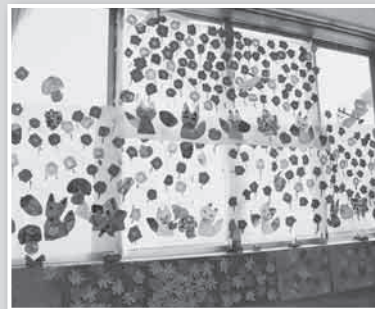
澄みきった秋空が広がる10月20日(土)、りんりんまつりが開かれました。当初の予定9月30日が台風24号の影響で中止になり、日程を改めての開催でしたが、約140名もの来場者で賑わいました。今回はクイズ形式のスタンプラリーを企画。りんりん事務所・りんごびあのどこかに隠れているスタンプを、とりわけ子どもたちが夢中になって探していました。“折り紙”“絵画”“書”“手芸”といった利用者さんの作品も会場を彩り、それぞれの完成度の高さに目を見張りました。

### — りんりん事務所会場 —

受付で、スタンプラリーの台紙を受け取り、スタッフの元気な笑顔に迎えられて会場内へ。絵手紙の作品は、四季をテーマにレイアウトされ、華やかでした。丁寧な仕立ての布の小物は格安で販売も。ハンドマッサージ・ストレスチェック・絵手紙の体験も。“ごん”の顔出しパネルもありました。



題字を書きました



デイサービス利用者さんの作品



保健婦さんのストレスチェック



ハンドマッサージは気持ちいい



おだんご3人娘



“ごん”になったよ!



絵てがみ



絵てがみ体験



利用者さんの作品



すてきな小物の販売

### — りんごびあ会場 —

お休み処では好きな飲み物を手に、あちらこちらのテーブルでおしゃべりの花が咲いていました。りんごクラブの子どもたちも、風船釣り・輪投げのお手伝いをしていました。さをり織りの作品は個性豊かで、販売も大好評。スタンプラリーのゴールでは、参加者たちが景品に喜んでいました。



お休み処でのんびりと



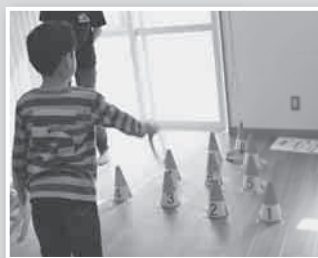
さをり織りができました



さをり織り体験



びあ会場はにぎやかです



輪なげ



子どもたちも楽しんで



お休み処の看板娘



水ふうせん釣り



掘り出し物はみつかったかな?

